

2023年3月期決算説明資料



(2023年5月現在)

〔主要指標の推移〕

- 1. 2023/3期の業績 2
- 2. 貸出金の推移 3
- 3. 総預金+預り資産残高の推移 4
- 4. 自己資本の状況 5

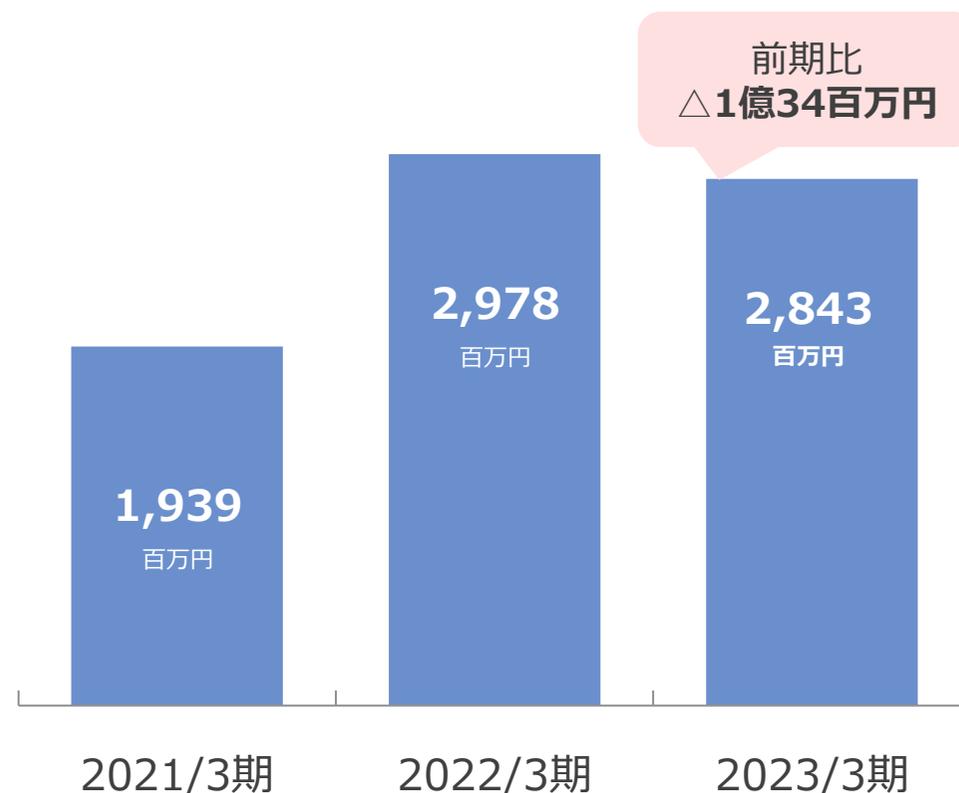
1. 2023/3期の業績

本業収益であるコア業務純益（除く投資信託解約損益）は28億43百万円で、前期比1億34百万円減少しましたが、第五次中期経営計画において目指す経営指標として掲げた28億円は達成いたしました。

単体

(百万円)	2022/3期	2023/3期	増減
経常収益	11,735	11,615	△120
資金利益 (除く投資信託解約損益)	8,133	8,417	283
役務取引等利益	1,970	1,441	△528
経費（除く臨時処理分）	7,140	6,965	△175
経常利益	2,092	1,863	△229
当期純利益	1,153	1,216	62
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	2,978	2,843	△134
与信関連費用	57	204	146
総資金利鞘	0.12%	0.16%	0.04%
お客さま向けサービス業務利益率	0.18%	0.21%	0.03%

コア業務純益（除く投資信託解約損益）※

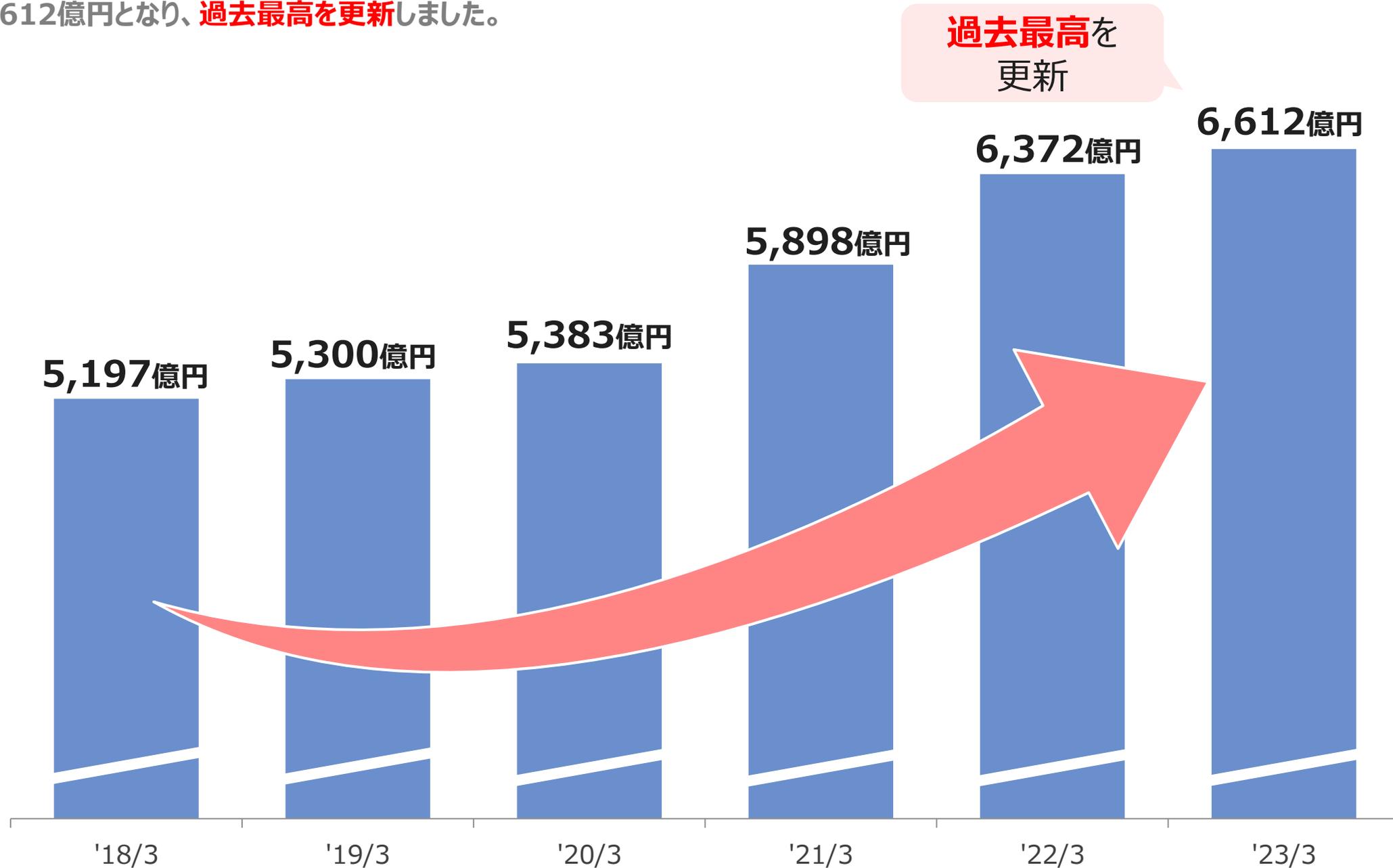


※ コア業務純益(除く投資信託解約損益)

貸出業務や役務サービスなど金融機関の本来の収益力をあらわす。本業のもうけを示す営業利益にあたる業務純益から、国債の売買損益、投資信託解約損益など、一時的な変動要因を除いたもの。

2. 貸出金の推移（単体）

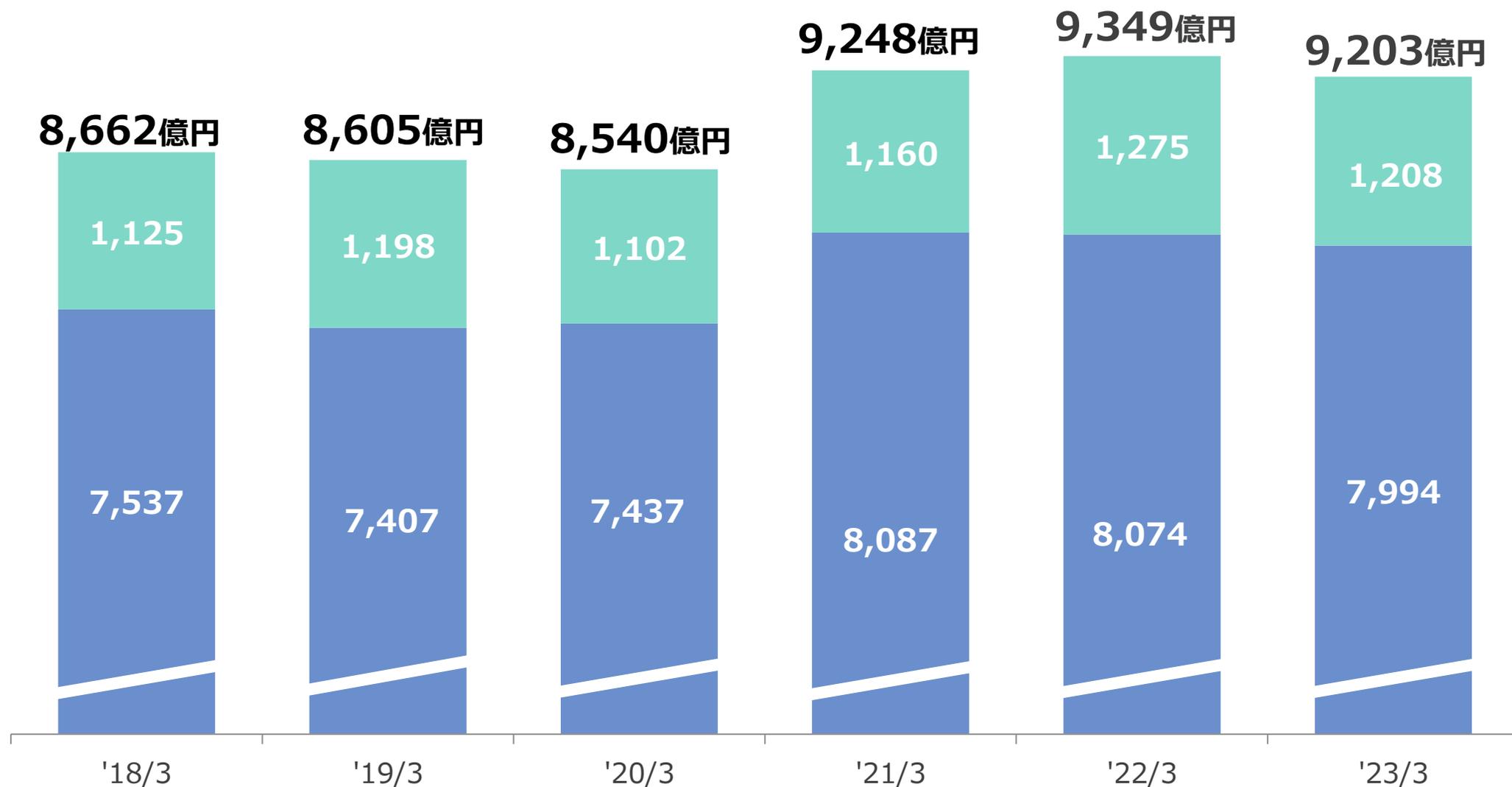
2023/3末の貸出金残高は、住宅ローンなど個人向け貸出が増加したことなどから、2022/3末比240億円増加して6,612億円となり、**過去最高を更新**しました。



3. 総預金＋預り資産残高の推移（単体）

2023/3末の総預金と預り資産残高の合計は、2022/3末比146億円減少して9,203億円となりました。

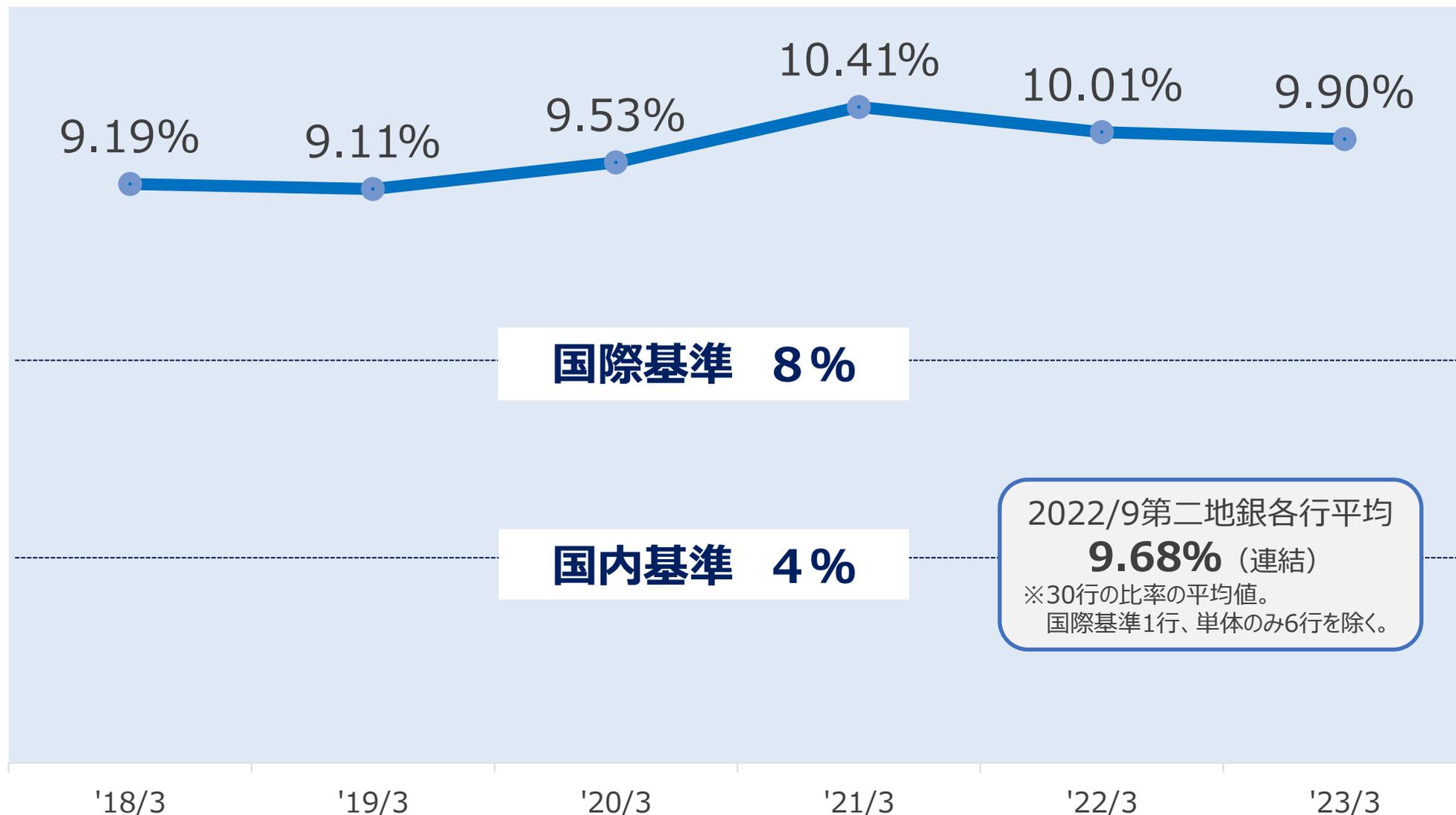
■ 総預金（末残） ■ 預り資産（投資信託＋公共債＋個人保険）



4. 自己資本の状況（連結）

2023/3末の連結自己資本比率は9.90%となり、高い健全性を維持しております。

● 連結自己資本比率



本資料は、当行に関する理解を深めていただくための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありませんので、予めご了承くださいませようお願いします。

本資料に関するお問い合わせ先
大東銀行 経営部
TEL : 024-925-3872 (ダイヤルイン)